# 公民館だより

## 火災から自らを守るためには

### 佐々並婦人会総会より

去る三月十日、佐々並婦人会総会に、秋市消防本部予防課藏貫課長補佐をお招きし、火災予防及び発生時の注意点等について講義を受ける機会をいただきました。まもなく春を迎え、暖房器具等を使用することは少なくなるとはいえ、いつの季節も火災は様々な原因で発生しています。一人ひとりが意識することが大切であると思いますので、ここではポイントになるようなことについてご紹介したいと思います。

令和5年の萩管内（阿武町含む・以下同じ）における火災の発生件数は、26件で、残念ながらお一人の方が亡くなられています。また、出火原因別では、枯れ草焼きが9件と最も多く、以下電気機器、コンロと続いています。

①枯れ草など燃えやすいものが多くあるところでは火をつけない。②その場所を離れることなく必ず消火を確認する。③強風時や乾燥時には火をつけない。などがポイントとして挙げられています。万が一作業中着衣に火がついてしまった場合は、立ち止まり、腹ばいになり、体をローリングさせることがよいとされています。

家庭の中に目を移しますと、電気系統が原因となることがあり、コンセントを例にとると、①タコ足配線をしない②コードを束ねない③コードの上に重いものを乗せないなどがありますが、もう一点、トラッキング現象と言って、コンセントプラグの間に溜まったほこりが湿気を吸うと、通電し発熱してしまうことがあり、火災の発生原因になってしまうようです。冷蔵庫のコンセントなどの確認が必要ですが、対策器具も販売されているようですので、ご検討されてみてはいかがでしょうか。

ご存知の方も多いかと思いますが、「住宅用火災警報器」の設置も推奨されています。その名のとおり、煙などに反応してブザーや音声で火災発生を知らせるものです。一般的に設置場所とされているのは、寝室（寝室が二階にある場合は階段の上部）と言われています。居住している方が避難するために設置するものですので、設置されていない方はぜひご検討ください。設置していると言う方でも、10年周期での交換が推奨されていますので、定期的な点検をお願いいたします。また消防本部では、家の中の高い場所に設置する警報器ですので、高齢者世帯に対しては取付支援も行っておりますので、公民館までご相談ください。

日頃から火災への意識と備えが大切です。『出して消すより　出さない工夫』

## 入ったよー

今月の新刊（佐々並図書室情報）

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

「成瀬は天下を取りにいく」　著：宮島未菜

中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。
コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るというのだが…。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭にし、二百歳まで生きると堂々宣言。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない！　話題沸騰、圧巻のデビュー作。

【2024年 本屋大賞受賞作】

「となりの億万長者が17時になったらやっていること」
著：塩田 武士

実業家／映画プロデューサー・嶋村吉洋氏が、「となりの億万長者が17時になったらやっていること」と題して、成功者が大切にしていることを、45のエッセンスに分けて解説する一冊。

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

今月のわくわく号
7日（火）・21日（火）
※ 活性化センター前 10：40～11：10

## 佐々並の今

（令和6年3月1日現在）

| | |
|---|---|
| 世帯数 | 263戸 |
| 男　性 | 257人 |
| 女　性 | 274人 |
| 合　計 | 531人 |
| （前月比 | ±0人） |
| 65歳以上割合 | 58.9% |

## ぎょうじよてい

4月8日（月）　9時30分～
佐々並小学校入学式
新入生1名

4月13日（土）　9:30～
ささなみさくらまつり　　活性化
カラオケフェスティバル開催！

4月22日（月）
旭地域狂犬病予防注射
犬の飼主さんには、当日の計画表を送付しております
詳しくは、佐々並支所まで

## 春の全国交通安全運動

4月6日（土）～15日（月）で実施され、重点目標は以下のとおりとなります

①こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
②歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
③自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
④高齢者の交通事故防止

## ふれあいグランドゴルフ大会

日　時：令和６年５月１１日（土）
　　午前９時～　開会式
会　場：イベント広場（明木）
内　容：グラウンドゴルフ８ホール×２
その他：①活性化センター８時発のバスをご利用ください
　　②申し込みは各戸配布します
　　チラシでお願いいたします
　　（４月２４日締め切り）

## つぶやき

### 「やまぐちのことば？」

少し時間は戻りますが、1月26日に佐々並小学校で開催された「学校保健安全委員会」に参加させていただきました。この日の講師は、大和良子（やまとよしこ）さん。ご存知ですかね、ラジオパーソナリティとしてご活躍で私も車中などで楽しく聴かせてもらっている一人なのです。私が個人的に思うこの方の特徴は、ラジオという公共性の高い放送手段（？）において、これでもか、というくらい山口弁を用いていらっしゃるのです。一言で山口弁と申しますが、番組の中では、特定の物や状態などをどんなことばで表しているか、つまりリスナーからの情報によって、言い方の境がどこなんじゃろうかみたいなことをされておられるのです。あの日に戻れるんじゃったら、「山口弁への思い」について、質問すりゃあよかったと、後悔の日々なのです。

自分自身も方言はよく使うと思っています。先日不幸なことに、対向車が跳ね飛ばした石によってフロントガラスに傷がつき、結果的に全部取り替えなくてはならなくなりました。先日保険関係の手続きの際、ＪＡ窓口で、私「ほんと今回は、ふが悪かったですいね」と何気に申しましたところ、職員さんは皆「うん？」みたいな感じ。「ふが悪い、て言いません？言わんのですよね。」これからは、話す方の年代も考慮しなくてはなりませんかね・・・。